

# ヤングケアラー支援策は

## 30日岡山で「学生福祉国会」

### 観覧者ら投票 優秀“法案” 県に提案へ

大学生が福祉課題の解決策を考える「学生福祉国会 in 岡山」が30日、岡山市北区天神町の県天神山文化プラザで開かれる。県内5大学・短大の計7チームが自由な発想力で提案し、観覧者らが審議。最も優れた“法案”は県に提案する。(大橋洋平)

障害や病気のある人の兄弟姉妹による自助グループ「岡山きょうだい会」などをつくる実行委が29、30の両日に同所で開催するイベント「第3回リアルボイス発表会」の一環。次世代を担う学生に障害者を取り巻く社会の現状を知ってもらおうと初めて企画した。

テーマは「ヤングケアラーについて社会ができることは?」。ノートルダム清心女子大、中国短大、川崎医療福祉大、くらしき作陽大、新見公立大の学生計約40人が9月から当事者や行政への聞き取り、ミーティングを通じ、家族の介護・世話をする子どもに必要な支援策を考えてきた。

法案は当日明らかにする予定で、各チームが7分程度でプレゼンテーションする。会場の大学生と行政関



学生福祉国会に向け、当日のスケジュールなどを確認した中間報告会

係者、観覧者らが新規性や着眼点、実現可能性を踏まえて投票し、最も得票が多かったアイデアを提案書にまとめて県の担当課に提出する。会場の様子はオンラインで生配信される。

今月上旬に岡山市内で中間報告会があり、学生らがスケジュールなどを確認。ノートルダム清心女子大2年の福尾幸恵さん(19)は「若年介護者への支援は専門家も手探り状態の課題だと聞く。私たちの世代でぜひ改善したい」と話した。

イベントは両日とも午前10時～午後5時で、学生福祉国会は30日午後1時～4時に開催。障害のある家族の介護をする人たちにスポットを当てた演劇の上演(両日午前)、障害者のきょうだい当事者らによる座談会(29日午後)などもある。

参加費はオンライン配信も含めて各500円(一部の講座は無料)。申し込みは同実行委の増田美佳代表(090-11359-2007、[aivoicecc@gmail.com](mailto:aivoicecc@gmail.com)) 氏に。